

## 第2期(平成28・29年度)健康づくり推進協議会の進め方(案)

目指す姿: 「市民一人ひとりが自分らしく、いきいきと生活できる健康のまち」

個人の目標: 個人が「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、健康的な生活習慣を身につけ、生涯を通じた健康づくりを自ら実践する。

家庭の目標: 生活の基盤である家庭は、健康の大切さを学び、健康的な生活習慣を身につける基本的な場であり、家族がふれあい、心のよりどころとして安らぐ場所です。家庭においては、本来持っているこうした機能を十分働かせます。

〈健康づくり推進協議会〉

健康づくりを支える社会環境(情報発信・環境整備等)の改善・向上が、市民の健康に影響を及ぼすことも踏まえ、地域や関係機関が共に健康増進への働きかけを進める。

地域・関係団体の取り組み、学校・園の取り組み、行政の取り組み

第2期	平成28年度			平成29年度			平成30年度
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民が「これならできそう」と思える健康づくりの情報が身近な場所で得られる。(プロジェクトWの推進)                      具体策: 野菜の摂取を促す啓発・運動を促すポスターによる啓発の推進</li> <li>●市民の健康づくりをサポートするまちづくりの推進                      具体策: 関係機関との協働事業の実施</li> </ul>						
会議回数	第一回	第二回(10月頃)	第三回(2月頃)	第一回(5月)	第二回(11月頃)	第三回(2月頃)	
会議での到達目標	1.「第2次健康りっとう21」の概要について 2.第1期の取り組みについて 3.第2期スケジュール(案)について 4.各関係機関の取り組み内容について(実績・計画)知る 5.市民の健康づくりをサポートするまちづくりに向けて各関係機関の主な事業の対象や、健康課題、そのための取り組みについて現状の共通認識。	1.あなたの健康ささえ隊について 1-1.進捗状況の報告 1-2.意向調査アンケート(継続・新規)実施について 2.啓発媒体の決定 2-1野菜たっぶりレシピ 2-2運動に関するポスター 3.市民の健康づくりをサポートするまちづくりの検討 ・どのような取り組みがあるとよいか、各関係機関からの提案(健康課題、達成目標、ターゲットの絞込み)	1.あなたの健康ささえ隊意向調査結果報告 2.市民の健康づくりをサポートする地域づくりの検討(来年度からの実施に向けて) ・関係機関の具体的な取り組み内容の検討 3.第2次計画中間評価アンケート原案提出	1.市民の健康づくりをサポートする地域づくりの検討 ・具体的な取り組みの実施・検討 2.あなたの健康ささえ隊進捗状況について 3.第2次計画中間評価アンケートの決定	1.市民の健康づくりをサポートする地域づくりの検討 中間評価 ・具体的な取り組みの実施・結果検討 2.2次計画中間評価アンケートの結果検討、評価、今後の方向性について協議 中間評価報告書(素案)提出	1.市民の健康づくりをサポートする地域づくりの検討 ・取り組みのまとめ・評価・今後の方向性について 2.2次計画中間評価報告書作成	中間評価を受けた取り組みの実施
中間評価		中間評価アンケート予算どり	アンケート業者選定	アンケート実施(5月末)	中間評価まとめ	中間評価報告書作成	委員決定

※ 進捗状況により、変更する可能性があります。

第1期の会議では、あなたの健康ささえ隊協力店の活動内容の充実と拡大を中心に協議した。

成果: 協力店へアンケートを実施し、協力店の意見を反映した媒体を検討でき、

協力店と顔を合わせることで、忙しい、健康に手が回らない、商売に手一杯という姿も理解でき、その中でも健康を大切にしたいという

こちらのメッセージも伝えると聞いてくださり、健康について少し立ち止まって考えていただける時間ができた。

運動の領域のポスター掲示、栄養・食生活の領域の野菜の摂取を促す啓発については協力店の反応もよくこのまま進めていく予定。

課題: 協力店も商売が第一優先であり、自らが健康の情報発信リーダーとして活躍いただくことには限界があり、

そのため、浅くとも広く市民へ啓発いただくことも期待し、スーパーやコンビニ、ドラッグストアへの協力店参加を呼びかけていく必要がある。

計画の推進のためには、市民が情報を得て自ら選んで行動していただく必要があります、健康づくりに取り組みやすい土台づくり(地域づくり)が必要。

そのためには、市民・行政・関係機関が互いに協力しあう必要がある。

第1期の健康づくり推進協議会では、ささえ隊の充実と拡大が中心であり、各部署が協働で取り組みを推進するところまではいかなかった。

提出いただいている事業実績には、それぞれの機関で取り組みをされていることがわかるが、関係機関同士がお互いを意識した取り組みとまでは

いたっていないのが現状である。

第2期では、さらなる推進のため、関係機関(ささえ隊含め)が同じ方向を向き、それぞれの役割、得意分野を活かしながら協働した取り組みに繋げたい。